



ほほえみ

年少だより

担任 中村 孝枝

夏休み、ご家族で楽しい時間を過ごせましたか？

2学期も生活リズムを整えながら、毎日が楽しく過ごせるように支援していきます。お子さんの様子で気になることがありましたら、いつでも気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願いいたします。

9月のねらい

- 保育者や友達と体を動かしたり話をしたりしてふれあうことを楽しむ。
- 秋の始まりを感じ、身近な自然や生き物に興味関心をもつ。



9月の保育において

わくわくフェスティバル(旧運動会)ってなあに？

3歳児にとって初めての活動、なかなかどんなものか想像しづらいと思います。種目については、1から話し合いて創り出していくことは難しいので、毎日の生活の中でいろいろと遊びを提案し、みんなで楽しみながらみんなで選んでいきたいと思っています。つばめ組のみんなは、まだほとんど苦手意識を感じず、いろいろと興味・関心を持って活動することができます。いろいろな経験の中から「大好きな動き」を見つけていきたいと思っています。

当日は会場の皆様と心を合わせながら体を動かすことの楽しさを感じられるようにしていきたいです。ぜひ、ご家族の皆様も一緒に楽しんでください。ご協力をお願いいたします。

身近な自然にふれて自分なりに遊んでみる

秋になり自然が少しずつ変化していきます。自然や生き物に興味、関心がもてるように関わって感じる心を育てていきたいと思っています。

「ハロウィンをやりたい！」

1学期経験したお化け屋敷がとても楽しかった様子で、わくわくが継続しています。その気持ちを大切に遊びを広げていきたいと思っています。

話すこと、聴くこと、共感することの大切さ

夏に経験したことなど子どもは嬉しそうに話してくれます。そんな気持ちを受け入れることはとても大切なことです。その子の気持ちに共感したり、成長を認めたりしていくと、人と話すことが楽しくなり、自分に自信がもてるようになります。そして、自己発揮にも繋がります。また、受け入れてもらった経験は人を受け入れるという力にも繋がっていきます。

サークルタイムや園生活での対話を今まで以上に多くして自分の気持ちを受け止めてもらうことの心地よさを感じられるようにしていきます。また、その中で子ども同士を繋げ、一人ひとりの良さを大切にしながら認め合える環境を作っていきます。

ご家庭でもお子さんの話を聞く時間を増やして一緒に考えることや喜び合うことの経験を増やしてみたいかがででしょうか？きっとその子らしく輝けることに繋がっていくと思われます。

